水田の保全と活用
お米の価格問題を考える
6生協合同学習会

参加費
無料

―生産者と消費者が共につくる持続可能な農業へ―

米をつくる現場が、いま大きく揺れています。生産量と消費量の減少、止まらない米価の高騰、そして水田を守り続けることの困難さ――。
それは、生産者だけの問題でも、消費者だけの問題でもありません。日本の「食の基盤」そのものが、いま問い直されています。産直を通じて、生産と消費を結び続けてきた6生協は、この現実を真正面から受け止め、連帯して動き出します。水田の多面的な価値を改めて見つめ直し、米の価格を「適正さ」という視点から捉え直す。そして、2027年に向けた水田・米政策を、消費者と生産者の声から描いていく――。
本学習会は、その第一歩です。変化の時代にこそ、私たちが守るべき「食と農の未来」を、ともに考えます。

2026.4.11 SAT

時 間 13:00 -17:00
（受付開始 12:30）

会 場 TKPガーデンシティPREMIUM
品川HEART ８階（ホール８Ｂ）
（所在地）港区港南1-8-23 ShinagawaHEART
（アクセス）JR品川駅 港南口徒歩5分
※ 品川駅周辺にTKPの会議室が複数ございます。右記二次元コードよりGoogleマップにてお越しください。

対 象 組合員、生産者・取引先、生協役職員、行政関係者、その他生協関係者

形 式 会場参加（350人）
オンライン配信（Zoomウェビナー）

申し込み 4月3日(金) 締切
＜会場参加＞
所属先の各生協までお問い合わせください。
＜オンライン参加＞
右記の二次元コードよりお申し込みください。
ウェビナーコードは、メールにて前日に送信します。

お問い合わせ
※各生協の連絡先

内 容 ※プログラム内容は、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

１．基調講演
テーマ：米騒動に帰結した減反政策の問題点と、農政転換としての直接支払いの必要性
明治大学 農学部 教授 作山 巧 氏

２．農林水産省からの説明
テーマ：米政策の考え方（予定）
農林水産省農産局農産政策部
企画課長 国枝 玄 氏

３．生産現場からの報告
米生産者による事例報告（生産現場が直面する課題、消費者に伝えたい現場の声など）

４．組合員・消費者の視点
6生協の組合員代表より（水田保全への期待、お米の適正価格、生協として取り組むべき方向性など）

主催団体（6生協）
パルシステム生活協同組合連合会、生活クラブ事業連合生活協同組合連合会、生活協同組合連合会コープ自然派・オレンジコープ事業連合、生活協同組合連合会アイチョイス、グリーンコープ生活協同組合連合会、東都生活協同組合